

シート番号	3303-01	名 称	月待塔(一石)
分 類	供養塔	場 所	坂田 西本名輪
小 分 類	念仏供養塔	メッシュ番号	1323
年 号	年紀不明		
形 状	楕型		
サ イ ズ	高：26 c m 横：69 c m 奥行：12 c m		
画 像 番 号	3303-01-01		



みろく
浄心法師

せいし

じゅんてい

ばとう

せんじゆ

こくうぞう

日五 日三廿 日二廿 日九十 日七十 日三十

コメント； 各本尊に印された日にちは、それぞれの月待の日の本尊と符合するものもあるので、月待の可能性はある。ただし、十三夜から二十三夜までバラバラな月待であることから、このような例はみられない。近い例としては木更津市桜井の光福寺にある「七夜待塔」などがあるが、この塔は十七夜～二十三夜まで七日間の月待を行うもので、この塔のようにバラバラな月待をする例はない。また、通常二十三夜は如意輪観音を本尊とするものが大半であり、勢至菩薩はめずらしい。馬頭観音の像容は通常、明王馬口印あるいは合掌を基本とする印相であるが、この場合異なっている（彫り間違いか?）。弥勒は二十五日の本尊であるので、五日は間違い。
(岩根公民館稲木章宏教示)

元は滝の前不動に祀られていた。